

いずもざき

議会だより

第84号

2014
平成26年7月22日



6月定例会

もくじ

- ・ 5月臨時会、議会のうごき 2
- ・ 6月定例会 3
- ・ 予算審査特別委員会、全員協議会 4
- ・ 一般質問（6人が町政をただす） 9
- ・ 議会モ二タ一委嘱、追跡(新企画) 11
- ・ 町民の声 12

子ヤギのポポちゃんが仲間入り
(出雲崎小学校)

5月臨時会

(会期 5月19日 1日間)

平成25年度一般会計補正予算(第8号)(専決)

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第8号)(専決)	4791万円	36億5369万円

臨時会では、町長専決の平成25年度一般会計補正予算(第8号)や条例の一部改正、また副町長の選任など議案4件が提出され慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で承認・同意しました。

主な歳入

- 地方交付税追加(特別分)…………… 6954万円 (△印は減額)
- ゴルフ場利用税交付金追加…………… 350万円
- 土地売払収入追加…………… 331万円
- 地方消費税交付金追加…………… 323万円
- 地域の元気臨時交付金追加…………… 117万円
- 財政調整基金繰入減…………… △3950万円

主な歳出

- 財政調整基金積立…………… 5500万円 (△印は減額)
- 地域の元気臨時交付金基金積立追加… 802万円
- 観光用公衆便所設置工事減…………… △110万円 (心月輪脇のトイレ)
- 除雪委託料減…………… △290万円
- がんばる街なみ支援助成金減…………… △100万円

人事案件

副町長の選任

小林 忠 敏 (山谷)

平成26年6月1日から4年間

承認した条例改正など(専決)

主なもの

- ◆ 町税条例の一部改正
 - ・国の税制改正によるもの。
- ◆ 町国民健康保険税条例の一部改正
 - ・国の税制改正によるもので、課税限度額の引上げや軽減世帯に係る保険税の所得算定基準の見直しなど。

議会のひびき (主なもの)

(平成26年4月～6月)

- 4・3 議会報特別委員会(議会だより第83号)
- 4・3 議会報特別委員会(議会だより第83号)
- 5・13 議会運営委員会
- 5・19 第2回臨時会
- 5・19 全員協議会
- 5・27 第39回議長・副議長研修会(東京都)
- 5・27 出雲崎町議会モニター委嘱
- 6・9 議会運営委員会
- 6・16 議会運営委員会
- 6・16 6月定例会招集日
- 6・18 予算審査特別委員会
- 6・18 議会報特別委員会(議会だより第84号)
- 6・18 社会産業常任委員会
- 6・18 総務文教常任委員会
- 6・19 6月定例会2日目(一般質問)
- 6・23 議会運営委員会
- 6・23 6月定例会最終日
- 6・23 エコパークいすもざき監視特別委員会
- 6・23 現地調査
- 6・30 県町村議会議長会第一回臨時総会

(新潟市)

6月定例会

(会期 6月16日～23日 8日間)

* 6月定例会で決まった補正予算 *

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)	2823万円	33億5123万円
特別会計 簡易水道事業 (第1号)	139万円	3億1769万円

定例会では、平成26年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など議案6件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

なお、請願1件を採択し、意見書1件を可決しました。

一般会計補正予算 (第1号)

主 な 歳 入

- ・ 社会保障・税番号制度システム整備費補助金… 540万円
(マイナンバー制度によるもの)
- ・ がんばる地域交付金… 417万円
(町道尼瀬7号線・大門ふどの線に充当)
- ・ 土地売払収入… 121万円
(一般会計から簡水特別会計へ売却)
- ・ 前年度繰越金追加… 1358万円
- ・ コミュニティ助成事業交付金… 250万円
(宝くじの助成金)

主 な 歳 出

- ・ コミュニティ助成事業補助金… 250万円
(石井町の弓矢・神楽幕・はんでん等)
- ・ 中山間地域総合整備事業調査計画負担金… 260万円
(八手地区)
- ・ 屋外監視カメラ借上料… 78万円
(いずもぎき海遊広場・天領の里・中央公民館)
- ・ 尼瀬油井戸陥没被害拡大防止工事… 150万円
- ・ 道路新設改良舗装工事追加… 1280万円
(町道尼瀬7号線・大門ふどの線)
- ・ 小学校特別支援教室エアコン… 82万円
- ・ 中学校体育館窓枠落下防止工事… 189万円

簡易水道事業特別会計 (第1号)

主 な 歳 入

- ・ 前年度繰越金追加… 139万円

主 な 歳 出

- ・ 浄水場用地買収費(大釜谷)… 121万円
(一般会計から購入)

可決した条例改正など

主なもの

◆町青少年問題協議会設置条例の一部改正
・法律の改正により委員要件を自治体の裁量に任せるもの。

◆町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
・家庭ごみ用指定袋の超極小サイズ(2ℓ)を追加。

請願

請願第2号

『手話言語法』制定を求める意見書の提出を求める請願書

全会一致で採択に決定

可決した意見書

◆『手話言語法』制定を求める意見書

提出先

内閣総理大臣・衆議院議長
参議院議長・総務大臣
厚生労働大臣・内閣官房長官

人事案件

農業委員会委員の推薦
中野勝正

予算審査特別委員会

・6月定例会において、一般会計・特別会計補正予算は、予算審査特別委員会に付託して審査しました。(主な質疑内容)

**尼瀬油井戸陥没
被害拡大防止工事**
150万円

宮下議員 工事の内容はどのようになっていますか。

産業観光課長 高さ80センチ幅160センチのコンクリート製の枠を囲い油の流出を防ぎます。ガスについては管を立ち上げて上部にガスを逃がすように対応します。

**中学校体育館
窓枠落下防止工事**
189万円

宮下議員 工事の内容はどのようになっていますか。

教育課長 文科省の要請によるもので、体育館照明落下防止工事に合わせて行います。窓ガラスの飛散防止工事は25年度中の事業です。この度は窓枠自体の落下防止工事になります。

**屋外監視カメラ
借上料**
78万円

1台 4台
1台 4台
1台 4台

三輪議員 管理する課と借上げる期間は。

諸橋議員 学校への設置はどのように考えていますか。

総務課長 管理は総務課が行います。リースの期間は5年間です。

教育課長 学校への設置は現在計画にはありませんが、暗い所がないように外灯の数を増やしています。



尼瀬の油井戸陥没現場

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第5回 5月19日

◎枝葉の回収について

中野議員 長岡の寿クリーンセンターでは、市民であれば枝葉を無料で引き取ってくれます。出雲崎町民は寿クリーンセンターを利用できないものでしょうか。

町民課長 当町では毎月の最終月曜日に中央公民館で枝葉や草の回収を無料で行っています。確認した結果、寿クリーンセンターは利用できません。

◎小学校運動会と野球大会との日程調整について

中川議員 運動会と出雲崎スカイヤーズの大事な試合が重なり、数名が運動会を欠席するという残念な事になったと聞きました。来年以降、このような事態にならないように調整を図るべきです。

教育長 職員、保護者、PT

Aで協議した結果、出場を認めたと聞いています。今後全体に係る学校行事を優先と考え、主催者側にも要望したいと思います。

◎地産地消の給食について

中川議員 当町では今年、タケノコが大豊作でしたが、学校給食では出されなかったようです。地産産の旬の原材料を使う指導すべきと思います。

教育長 当然そのような配慮をしていくべきと考えます。

◎ベルマーク等収集の地域協力について

仙海議員 ベルマーク等、学校で子どもたちが収集をしているものについて、地域住民が協力したい場合、その方法を検討して下さい。

教育長 何らかの形で広報などに載せるようにします。

◎町の防災倉庫について

三輪議員 防災倉庫にどのよ

うなものが入っているか、確認して有事の際、有効に使えるようにすべきと思います。

◎道路の表示や交通安全の啓発について

加藤議員 防火水槽近くや駐車禁止エリアでの駐車によりトラブルが発生したケースがあります。表示や啓発について工夫して下さい。

三輪議員 稲川トンネルは無灯火の車が多く危険です。また、優先表示がわかりにくい交差点もあります。

総務課長 公安委員会と連携して対応いたします。

建設課長 ソフトなマークینگ等を検討させて下さい。

◎西越エリアの眺望も活かして

諸橋議員 今年の春、西越エリアの眺望が見事で、これを活かす場所があるとよいと感じました。

町長 かつて小木見荘という建物が作られたことがありました。十分検討させていただきます。

一般質問 おたずねします お答えします



三輪 正 議員

人口減少問題に

全力を

総合窓口の設置を

質問 人口減少問題については、平成23年12月と24年9月議会の2回、一般質問させていただきました。

日本創成会議の試算で若年女性（20～39才）の減少による各自治体の大幅な人口減少が報じられました。当町は若年女性が351人が115人に減少し、人口も50%強の減少で2040年に2,743人の予想となっております。

当町でも、住宅団地造成、若者向け住宅建設、婚活事業など他町村に負けない対策を実施しておりますが、将来の人口数は予想をはるかに超え地域社会、経済への影響は深

刻です。

県や村上市では人口減少問題の対策委員会、田上町では少子化対策推進室を設置しました。当町でも総合窓口や人口減少対策委員会の設置など全庁での対策が必要と思いますが、町長の考えを伺います。

町に合った対策を

答弁 国、県、各自治体は対策を取っているが決定打は無い状態です。6月発表の「少子化白書」では女性の未婚化、晩婚化が進んでおり、意識の変化により結婚はしない人も増加しています。対策室の設置などでは解決はしないと思います。町の現

実に合った対策を全力で行動することが大切です。

先進事例を研究すべき

質問 日本創成会議の試算は「何も対策をしない数字」であります。表には出ませんが合併した旧市町村も人口減少は深刻です。

当町は財政面、規模的にも対策を進めるには条件は適しております。

大分県豊後高田市は平成24年「住みたい田舎ベストランキング1位」で2万4000人を3万人に増加させる計画です。対策として①移住

者の増加②子育ての充実③老後の医療④お試し居住（2週間）など実施しています。特に空き家バンク希望者登録410世帯、900人で、今まで75世帯175人が利用しています。成功している先進自治体を研究して、当町に合った対策を進めて

ほしい。

また、生れ育った町を愛する教育が地域、家庭でも必要と考えます。

定住できる環境をつくる

答弁 小さくとも頑張っている事例を勉強し対策を実施したい。特に働きやすい環境をつくるため、職場の創出や長岡等への通勤の利便性向上に努力し、またふるさとに住む気持を育てる教育も必要と考えています。

決定打はないがチャレンジする気持ちで進めてまいります。



子どもは町の宝です（だっこちゃんクラブ）



田中政孝
議員

道徳教育について

一般質問

質問 人間を人間とも思わず虫けらのように簡単に殺してしまうような驚愕なニュースが、毎日のように報道されており、子どもの首を絞め遺棄した、殺す相手は誰でも良かった、首・身体・手足を切断して埋めたというような事件が低年齢化しております。

平成27年から現行の「道徳の時間」を教科にすると変わっていますが、教科化についての見解を教育長に伺います。

国の決定を見守る

教育長 道徳教育は学校教育活動全体を通じ、道徳的な心情、判断力、実践力、態度などの道徳性を養うことにあります。現在、週1回年間35時間指導しています。各教科や各種教育活動等と密接な関連を図りつつ、道徳的な価値、人間としての生き方について

の自覚を深め、道徳的実践力を育成します。教科化はこれらを一層充実し、道徳を制度上位置づけ、検定教科書を用いると聞いています。そのようになれば道徳の時間はさらに深まり、一人ひとりの子どもを、道徳面からより確かに見取ることにもなります。子どもの規範意識の希薄化や犯罪の低年齢化が見られることから、子どもの規範意識や豊かな人間性を助長する道徳教育が一層重要であると考えています。

道徳の教科化の実現には課題があります。例えば、点数では表すことのできない評価の仕方や指導力を高める教員養成、そして、教科としての免許制の問題、検定教科書作成等です。いずれにしても関心を持って中教審答申や国の決定を見守っていききたいと思っております。

重要性は

質問 道徳教育の重要性をどのように考えますか。教育長・町長に伺います。

大きく4つに分けられる

教育長 教育の目的は、人格の形成を目指し平和で民主的な資質を備えた心身共に健康な国民の育成を期すことです。この目的を果たすために道徳教育は大変重要な役割を果たし、その指導内容は大きく4つに分けることができます。

- ①責任ある行動や、自分との関わり分野。
 - ②思いやりや相手の立場に立つなど他の人との関わり分野。
 - ③人間の力を超えたものに対する畏敬の念など自然や崇高なものに関わる分野。
 - ④公德心・正義・郷土や国家を愛する心を育成するなど集団や社会との関わり分野。
- これらは、行動の指

範を示す

町長 子は親の後ろ姿を見て育ちます。まず、家庭や地域、我々成人がもつとしつかりして範を示す、そうすれば教育以上の効果があります。地域の一人として改めて反省するところは反省して、どう生きるかという事を問い直して町政に携わっていききたいと考えます。

針や判断・決断のよりどころとなる、極めて大切な道徳教育の重要性を包括するものがあります。



道徳の授業風景（出雲崎小学校）



諸
橋
和
史
議員

一般質問

エコパーク地域振興策は

農家負担の軽減は

質問 去る6月16日の予算審査の中で八手地区の調査負担金がつき、28年度着工、中山間の負担5%より減額を県に求めていくか伺います。

答弁 今の段階では考えていません。

地域振興策は

質問 エコパーク地域振興策で、どう考えられますか。4月から消費税が5%から8%に上がり、今後は、10%に上がることも考えられます。

八手地区の基盤整備はエコパークの隣接地、特に稲川については同集落内にあります。地域振興策が重要なポイントとなり、基盤整備事業での農家負担が軽減されれば最も良い地域振興策ではないでしょうか。町長の考えを伺い

ます。

答弁 農家負担の減額は今すぐには難しい。

工種	番号	工区名	事業量	受益面積	事業費(千円)
農業生産基盤整備	①	市野坪	14.2ha	14.2ha	307,000
	②	稲川	11.1ha	11.1ha	241,000
	③	田中	9.7ha	9.7ha	221,000
	計		35.0ha	35.0ha	769,000
暗渠排水	①	稲川	4.7ha	4.7ha	16,000
	②	船橋	4.8ha	4.8ha	15,000
	計		9.5ha	9.5ha	31,000
合	計			44.5ha	800,000

八手地区 基盤整備事業費

質問 八手地区の基盤整備総事業費は8億円で、葉師堂、六郎女地区に比べ事業費が少

ないです。消費税が10%になる可能性も考えられますが、町長はどのように考えますか。

国道352号のバイパス化は

質問 国道352号の展望坂については早急にやってもらいたい。また長岡(三島地区)の改良バイパス化を進めてもらいたいと考えます。

エコパークの3期工事が始まれば、大型車の通行が多くなります。冬場の除雪で道幅も狭くなります。また、長岡北インターチェンジの運用も、平成28年度開始予定で観光にも多くの影響も考えられます。長岡市の協力を得て、県に要望はできないものか、町長に伺います。

答弁 国、県の政策の中でより良い事業があれば積極的に取り入れていきたいと考えます。また、規模拡大、組織整備については、今後積極的に取り組んでもらい、応援していきたいと考えます。

質問 国、県の政策の中でより良い事業があれば積極的に取り入れていきたいと考えます。また、規模拡大、組織整備については、今後積極的に取り組んでもらい、応援して

まず町内から

答弁 国道352号については、展望坂の改良が最重要課題です。また、当町にはセンターラインのない道路もあるので、まずそこからだと考えます。三島地区のバイパス化については、「一般国道352号柏崎魚沼間改良整備促進期成同盟会」の中で重要な課題として進めていきます。

一般質問

健康で安心して暮らせるまちに



加藤 修 三 議員

がん検診の受診率向上

質問 毎年、春になると住民健診が行われ、胃がん大腸がん等各種健診が行われ、ふれあいの里でも多くの方が検診に来られます。保健福祉課の皆さんが親切に対応し、スムーズに検診できました。

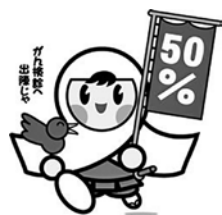
当町は町民の健康維持、がんの早期発見治療、生活習慣の改善指導を促しています。が、町の主要死因別死亡状況はがんがトップであり、がん検診の受診率を上げなくてはなりません。がん検診率は全体的に低いと思いますが、現状のがん検診率状況について伺います。

答弁 肺がん検診以外は県の検診率を下回り、ここ数年の推移では乳がん・子宮がんはやや増加傾向、胃がん大腸がんは横ばいで肺がんの検診率は減少傾向にあります。

質問 現状、検診率が上がっ

ていませんが、なぜ上がらないのでしょうか。また、上げているか伺います。

答弁 当町の人間ドック助成率は県下でトップであります。皆さん臆病でがんについて怖がり、自覚症状がないため、関心が低い状況です。健康についてPRしていますが、なかなか理解されない状況の中、若い働き盛りの人の所へ訪問、再訪問や、1日で行うがん検診をPRし、少しずつ成果が出てきています。



がん検診受診率の向上

胃がん発生を

予知する検診

質問 全国でがん死亡は胃がんが肺がんの次に多く、罹患

数はトップです。そのため、受診率を上げ早期発見、治療に努める必要があります。今の胃がん検診は、がん発症後の早期発見であり毎年受診が必要で、近年は、胃がんになりやすさを検査するABC検査を、新たに行う自治体もあります。

ABC検査でピロリ菌感染なし、胃粘膜萎縮なしの人は、胃検査を控え5年に1回程度の血液検査でよく、県内では本年初めて、長岡市が胃がんリスク低減と早期発見で胃がんゼロのまちを目指しています。費用面では、X線の半分程度で済み、費用対効果の面からも有効です。罹患率の減少、胃がん治療費の大幅な削減も可能であるABC検査を取組む考えを伺います。

答弁 当町で実施するには、この検診が県のガイドラインに位置づけられていないため、長岡、柏崎市等の医師会の理解と協力が不可欠で、実施自治体の状況などを見て総合的に検討していきたいと考えます。当面はがん検診の受診率向上と精密検査ゼロを目指しています。

各種がん、脳ドックの助成

質問 脳ドック助成事業は平成28年度をもって終了ですが、当町の脳血管疾患の死亡は現在もトップグループに入ります。また、子宮頸がん乳がんは若い世代に多く、大腸がんは男女ともに中高年に増えています。がんは早期発見、治療で治る可能性も高いのですが、受診率が低く、受診を促進して正しい健康意識の普及を図るために、無料クーポン券の助成、脳ドックの助成延長について伺います。

無料クーポン券の利用を

答弁 脳ドックの助成は当町含め6市町村で実施し、皆さんから受診してもらおうよう進めてきましたが、平成29年度国保関係の見直しの準備体制に入っており、平成28年度で終了とします。

がん検診の無料クーポン券は、子宮頸がん、乳がん、大腸がんで一定年齢の対象者に発行しており、受診率向上を図っています。

一般質問

津波・原発の避難計画について

津波避難計画

避難路整備の進捗状況は

質問 津波避難道の整備は、どの程度進んでいますか。

時間は掛かるが

答弁 計画した海岸地区の約9割の整備が終わっています。必要箇所は整備を進めていきます。

小路の整備はどうか

質問 津波避難の際、最短避難道となる小路を整備する考えはありますか。

調査は終わっている

答弁 調査は終わり、今後、案内板なども設置し整備を進めます。

町民の皆さんにも、平素より高い防災意識を持っていただきたいと思います。

要支援者救済は

質問 今後、軽トラやリアカー等を使い、要支援者の避難を想定した疑似的訓練を行うべきと考えますか。

行政だけでなく

答弁 柏崎市でも問題とされました。

行政も考えていきますが、町内や集落でもどのような形が最良か話し合いをしていただきたいと思います。

避難所内環境は

質問 劣悪化を極める真夏や真冬の避難所内環境を、どのように考えていますか。

弱者から

答弁 ある程度設備のある施設等には、優先的に高齢者弱者の方々から、体力気力が旺盛な若い方々には、他の施

設の利用をということが必要になります。

原発避難計画

避難は誰を優先に

質問 原発避難先は、関川村を考えているようですが、一度に搬送できる人数はどのくらいと考え、どのような方を優先者として考えていますか。

町で可能な限り

答弁 避難バスは県が対応します。しかし、県に任せる事は現実的ではありません。町でも可能な限りの対応を考えていきます。

今、具体的な搬送人数等は答えられませんが、官民一体となり総力を挙げて対応を検討していきます。



整備の進む津波避難道（尼瀬地内）

避難計画の策定は

質問 国は、全国対象自治体に、避難計画を立てるよう要請をしています。半数もの自治体は策定困難としています。

当町でも、策定が進まない理由は何だと考えますか。

近隣を参考に

答弁 広域性も関係しますから、柏崎・刈羽の策定内容も参考にしながら、今後計画を進めたいと思います。

電源三法の見直しを

質問 福島事故では、立地自治体より、周辺の自治体に広域的被害が及んでいます。

周辺自治体も電源三法交付金の対象地域とすべく、法改

正を国に強く要望していく考えはありませんか。

県と共に

答弁 泉田知事は、停止している核燃料税を引上げ、安全対策に投じたいとされています。ご指摘のようにありたいと思いますが、困難な事でもあります。

県に同調し、タイアップして、対策の充実を図っていきたいと思います。

非常用備品配備

質問 非常用持ち出し袋は、災害避難先で大変重要な生活必需品となります。

更に、被爆から身を守る簡易防護服やマスクなどが必須です。これらを常備品とし配備する考えはありませんか。

県からきているが

答弁 防護服等は県からきています。しかし、あくまでも避難を終えた後の帰宅時や、消防団が使用する事を目的とした数となっています。

非常用持ち出し袋は家庭でチェックし、準備をお願いしたいと思います。



宮下孝幸 議員

一般質問

今後の子育て 支援施策について



高桑佳子
議員

子育て支援センターの設置を

質問 当町においても子育て会議が開催され、子育て世代へのアンケート結果から、様々なサポートに関する意見があがっております。

当町では祝い金や医療費助成など、子育て世代への経済的負担の軽減は高い水準にあると思えます。しかし、ファミリーサポートセンターや病児保育・地域子育て支援センターなど、身近なサポート事業は実施されていません。子どもたちの数が少なくなった今、気軽に交流できるところとや悩みを相談できる場所が必要なのではないでしょうか。

子ども子育て会議で検討

答弁 当町においては子どもの数が少なく、3歳未満児の多くは保育園に入所していること、また相談の窓口を保健

福祉課に開設していることなどから、常設の子育て支援センターは設置していません。

核家族化、共働きのなかでの子育てがなかなか難しいこととは承知しています。めばえ教室やだっこちゃんクラブの実施回数を増やしてほしいとの声もありましたので、検討したいと思います。

今後、より質の高い子育てメニューを提供する必要があると思えますが、こども子育て会議で出雲崎町に合った施策を十分検討いただき、27年度から実施される子育て支援事業に反映させていきたいと考えています。

子育て支援ネットワークの拠点として必要

質問 以前は近所に顔見知りの小中学生がいて、子どもの成長をトータルで見通すことができました。今は、同じような状況の子どもたちのなか

で子育てをしなければならぬように思います。

近隣の子育て支援センターを利用される方もおられますが、当町に住んで当町で子育てをするのですから、この地域で子育てのネットワークを広げるのが一番良いのではないのでしょうか。長岡市では与板、三島など34の地域にそれぞれ小規模の支援センターが開設されています。また、サポートが子育てボランティアとして活動をしています。当町にも経験豊かな方たちがたくさんおられます。

支援センターは「子育てにやさしい町」の活動拠点として絶対に必要だと考えます。

国の子育て支援員制度を活用する

答弁 一定の研修を受けて保育士のサポートを行う「子育て支援員制度」が実施されるが、皆さんから参加いただきたいと思えます。また、当町は私立の保育園ですが、官民協働でできるかどうか、検証しながら進めたいと考えています。



めばえ教室で情報交換

子どもの成長をトータルで見守る組織編制は

質問 研修先の奥出雲町では、教育委員会のなかに子ども支援課において、0歳から18歳まで切れ目なく成長を見守る体制をとっていました。子どもの育ちを見通すには理にかなっていると思うが、検討する考えはありませんか。

現行の体制でやっていく

答弁 現行の体制で、子育て支援は各課が十分に頑張っています。子育て支援もそれぞれの専門性を活かし連携すべきと考え、組織の再編成は考えていません。



エコパーク現地調査

エコパークいずもぎき現地調査実施

6月23日、エコパークいずもぎき監視特別委員会ではエコパークの排水状況の調査を行いました。

排水施設の運転状況、排水の水質などの説明を受け、議会からは施設の適切な管理と水質の厳格なチェック体制を要望しました。

議会モニターの委嘱

議会改革で新たに設置が決まった、「議会モニター」の5名の方に5月30日、委嘱状が交付されました。

議会モニターの方々からは、本会議や常任委員会などを傍聴して、議会運営などについて意見や感想を述べていただきます。

議会では意見を参考にし、今後の議会運営に活かし、活性化に努めてまいります。

議会モニター委嘱者（敬称略）



佐藤 達雄
(稲川)



南波 実
(小竹)



関川憲一郎
(上中条)



矢川ユリ子
(米田)



佐藤 テイ
(勝見)

任期2年間
平成26年6月1日～平成28年5月31日

結果

- 1回3000円助成を実施
- 平成26年4月1日から後期高齢者（75才以上）の肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を助成。
- 一人につき1回に限り3000円助成。
- 原則として町内医療機関。
- 接種前に町保健福祉課（保険健康係）に申請が必要です。

平成25年3月議会 一般質問

議員

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成を

高齢者の死因の上位を占める肺炎の予防に有効なワクチン接種に助成すべきです。

1回7000円程度と、負担が大きく未接種が多い現状です。

町長

助成については、接種の管理が非常に困難なため、実施できませんでしたが、台帳管理方法などを含め、実施に向けて検討を進めます。

追跡

[第1回]

あの質問は

その後どうなった

議員が行なった質問の一部を取り上げ、その後の経過を追跡しました。

町民の声

元気な町に

駅前
磯木修悟

私は生まれも育ちも出雲崎で、現在も妻と子ども2人の4人で暮らしています。子どもも小学校にありますが、色々な行事に参加する機会も増え、そんな中、



あの頃の賑わいを（平成12年 町民レクリエーション大会）

時々自分の幼少期を思い出します。

今は行われていませんが、当時「町民運動会」が行われていて私はこれが好きでした。各部落対抗といった感じで、大人も子供も一緒になって賑わっていた事を覚えています。ですが年が経つにつれその賑わいも薄れていき、テントの数も一つ減り、また一つと。この光景が「寂しさ」として今も残っています。

今、過疎化に悩まされている地域は沢山あり、そこには様々な要因があると思います。少子高齢化、加えて若い世代の流出などがあります。解決できるものではありません。私には難しい事はわかりませんが、活性化のために、まず一人ひとりが自分の住む地域をよく知り、興味を持つ事が大切だと思います。私自身、出雲崎について知らない事はまだまだありますが、家族と共に町をみつめ、知っていかれたらと思います。

昔の様な賑わいを取り戻す事は出来ませんが、これからの「元気な町、出雲崎」に期待しつつ、何かのかたちでお手伝いしていけたら幸いです。

表紙の小話



初夏のある日、いちご畑から可愛らしいお友だちが出雲小学校にやってきました。子ヤギのポポちゃんです。

1年生の子どもたちが交代でお世話をしています。休日やこれからの夏休みも、当番が学校に来てエサやりをします。生き物を飼うというのは大変ですが、とても良い勉強になることでしょう。

ミミズだってオケラだってアメンボだってみんなみんな生きているんだと、大きな声で歌った子ども達の頃を思い出します。

自然の中で生きている命、一つひとつの命を尊く思い大切にすることを育んでほしいと思います。（高桑佳子）

編集後記

議会では、6月定例会から議会モニターの委嘱や、一般質問の制限時間を1時間以内とする等の議会改革を新たに始めました。

『減らす・無くす』といったことが改革と言われがちですが、新たな取り組みを行ったことにより、いかに成果が上げられるかが改革の意義だと思います。

議会だよりの編集をとおしても、町民の皆さまのご意見をお聞きするのが多々あります。

そこに、耳を傾けながら、出雲崎に、生まれ、住んで、嫁いできて良かったと思える町にしなければなりません。

今後とも、議会に対し皆さまのご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。（仙海直樹）

議会報特別委員会

- 委員長 三輪 正
- 副委員長 仙海直樹
- 委員 加藤修三
- 委員 高桑佳子